

令和5年度第三セクター経営評価結果及び対応について

一般財団法人青森市文化観光振興財団

1 令和5年度 経営評価

評価項目	目的適合性	効率性・効果性	組織運営の健全性	財務の健全性	透明性	自立性
第一次評価 (法人)	概ね良好	概ね良好	改善の余地あり	概ね良好	概ね良好	概ね良好
第二次評価 (所管部局)	概ね良好	概ね良好	改善の余地あり	概ね良好	概ね良好	概ね良好

【改善の余地ありの理由】

組織運営の健全性： 事務監査規程に定める事務監査が実施されておらず、また、契約事務規程に定める事務手続がとられていなかったため。

※参考 令和4年度決算

■当期損益 6,486千円 累積損益 33,683千円

■市からの収入

全体666,244千円（経常収益に占める割合 R4：66.2%←R3：74.3%）

うち競争によらないもの 50,216千円（経常収益に占める割合 R4：5.0%←R3：9.8%）

2 第三セクターの対応

◆経営戦略プラン(R5～R7)の取組と計画

経営基盤の強化、指定管理施設の機能充実と利用促進、利用者サービスの充実、公益性、公共性を重視した施設運営ならびに事業展開、収益事業推進による財務基盤の強化、地域との連携強化、情報発信の強化、人材育成の強化、観光・レクリエーションの普及振興、文化芸術の普及振興という経営戦略方針に基づき事業を推進。

○具体的取組

- ①組織構成及び責任者の配置・役割の見直しによる経営責任の明確化
- ②指定管理施設の防災・防犯管理の徹底
- ③イベントの見直しと各施設の特性を生かしたイベントの検討
- ④SNSによるリアルタイムな情報発信の実施

○財務計画：毎年度当期損益の収支均衡を最低限維持

【取組状況】

令和5年度については、令和4年度に引き続き、施設の休館はなく、イベントなどはほぼ計画通りに、各事業所において実施することができた。また、ユーサ浅虫においては、毎月開催している「あさむしマルシェ」を一般社団法人浅虫温泉観光協会主催の「ASAMUSHIフェス」（9月16日、17日開催）と連動して開催するなど、各種イベントの実施による来館者の増加策に努めている。

一方で、組織運営の健全性に関する評価においては、事務監査規程に定める事務監査が実施されておらず、また、契約事務規程に定める事務手続がとられていなかったことから、改善が必要であるものと認識している。

令和6年度以降については、引き続き、当財団の経営健全化に向け、持続可能な法人として収益性の高い自主事業を展開するとともに、組織運営の健全化に向けて取り組んでいく。

3 市の対応

組織運営の健全性に関し、一般財団法人青森市文化観光振興財団が定めた規程に基づく事務監査や契約事務手続が適切に行われていない状況が確認されたことから、今後は、事務監査について、確実な履行を確認し、適切な事務手続の実施を促すための対応を求めている。

また、新型コロナウイルス感染症の影響緩和に伴い、決算は2期連続の黒字となり、収支は改善傾向にあるが、依然として収益の大部分は指定管理料であることから、市としては自主財源の確保による財政基盤の強化に努める必要があるものと認識している。今後も引き続き、経営戦略プランに基づく取組等の着実な実施や収益事業の更なる検討・実施を求めていく。